

教 育 学 部 紀 要

102

目 次

早瀬沙織： 教養英語教育科目における COIL 導入の有用性	1
本多正敏： 情報構造に基づく中学校英語検定教科書の質的分析 —与格交替の予備的事例研究—	9
松井真之介： アルメニアの伝統織物技術がモードへ与えた影響 —スキャパレッリの「トロンプリュユ・セーター」—	27
中堀博司： 旧フランドル伯邸ラ・サル館（リル）の所在地について	39
中村周作： 日本の伝統的魚介料理の地域的展開 その5 —農山漁村文化協会『日本の食事シリーズ』記載料理—	61
大平明夫： 延岡平野の大貫低地における完新世中期以降の古環境変化 —完新世堆積物の ¹⁴ C年代測定と珪藻分析の結果—	91

新名桂子： 自由と幸せと革命の方へ ——『ユリシーズ』のカッコいい終わり方	102
篠原久枝・花牟禮海波・後藤聖葉： 宮崎県内のこども食堂についての一考察 ——2016年と2021年の実情と課題——	113
高橋京子・境泉洋・松原耕平： 幼児期の集団社会的スキルトレーニングが学齢期の社会的適応に与える影響	127
高橋京子・境泉洋・松原耕平・石川信一： メンタルヘルス予防教育プログラムを加えた集団SSTの効果	140
立元真・高橋智子・中島寛・加藤博之・東迫健一： 小学校高学年におけるレジリエンス向上の試み ——小学校高学年向けプログラムの効果検証——	152
塚本泰造・黒崎愛： 宮沢賢治『貝の火』『ガドルフの百合』を文章論的に解きほぐす ——意味構築のプロセスを教室で共有するために——	162
湯田拓史： 河川行政と関連する学校施設 ——事例としての宮崎県椎葉村立椎葉中学校寄宿舎——	176
石川千佳子（訳）： アーサー・モリソン著『日本の画家たち』（四）	189